



報告!

要望16件を
付して

令和3年度決算を承認しました。

要望
内容は
こちら▶



主な質疑・要望の論点

- 1 大型再整備関連投資が目白押し
財政の健全性を保てるのか?
- 2 国際情勢による原油価格・物価高騰
暮らしの安心・安全は守れるのか?
- 3 求められる持続的発展
まちの魅力をどう高めていくのか?
- 4 超高齢化社会・人口減少対策
教育・子育て環境をどう充実させていくのか?
- 5 コロナの大規模な感染拡大
第8波に備えた医療提供体制をどう構築するのか?



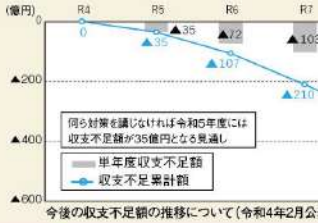
※「代表質疑」「総括質疑」「局別審査」主な質問を下面・裏面に記載しています。

扶助費や公債費などの義務的経費が増加し厳しい決算内容であるものの、

基礎的財政収支の黒字を確保したが...

厳しさを増す財政状況

今後、超高齢化社会の進展に伴い、経済規模の縮小や市税収入の減少が懸念され、社会保障費のさらなる増加や、国際情勢による原油価格・物価高騰、ポストコロナ時代への施策転換に係る財源確保など、本市を取り巻く財政状況はより一層厳しくなることが予想されている。



祝!

神戸空港「国際化」が正式に決定!

日本維新の会 神戸市議員団は、これまでに神戸空港の国際化や関西3空港の一体運営を議会で推進してきました。この度、関西3空港懇談会で、関西国際空港・伊丹空港を補完する役割として、2025年に国内線の発着回数を1日あたり最大120回、また国際チャーター便の運航、2030年前後には1日あたり最大40回の国際定期便の運航を目指すことが

認められました。しかしながら、「空港へのアクセス増強」「空港機能の強化」「観光・ビジネスでの空港利用促進」など課題は山積みであり、神戸市全体で早急に取り組んでいかなくてはなりません。日本維新の会は、国際化による恩恵を最大化し、神戸経済を成長させていくために、引き続き鋭意取り組んでまいります。



代表質疑

日本維新の会 神戸市議員団による質疑・要望

令和3年度決算

決算代表質疑 高橋としえ議員



高橋 議員 **新型コロナウイルス治療薬の登録医療機関の公表について**
新型コロナウイルスの治療薬であるパキロビットとラゲブリオはそれぞれ効果、適正が異なるがどの医療機関にどの治療薬があるか兵庫県も神戸市も公表していない。市民目線に立ってきめ細かい情報提供を行い一日でも早く治療を受けていただくために登録医療機関は公表すべきではないか。

小原 副市長 現時点では重症化予防についての調整がうまく機能しているため公表することは考えてはいないが今後の新型コロナウイルスの状況などをふまえて引き続き検討していきたい。

決算代表質疑 川口まさる議員



川口 議員 **帯状疱疹ワクチン接種の費用について**
日本人は80歳までに約3人に1人がかかると言われている帯状疱疹。神戸市でもワクチン接種に対する費用助成を導入できないか?

厚生科学審議会ワクチン評価に関する小委員会において議論がなされている。国の検討状況を注視してまいりたい。

川口 議員 **王子公園再整備について**
例えば、動物が幸せに暮らせるようになるなど、市民にとってのメリットを具体的に提示する必要がある。再整備によって、動物を間近で観察できたり、動物の生息環境や生態に配慮した展示ができるようになるなど期待しているが、経済効果だけではなく、このような動物園の明るい将来像についても、なるべく具体的なイメージを、市民に対して、絵や写真を用いて視覚的に伝えていくことで、再整備自体が歓迎されていくようになると思うがどうか。

油井 副市長 他の動物園の事例や、有識者の意見も参考にしながら、展示方法について検討していきたい。基本計画の策定過程においては、イメージをできるだけ視覚的に伝えるなど、情報発信を積極的に行い、何度でも行ってみたい、行ってよかったと思われる魅力ある動物園にリニューアルしていきたい。

総括質疑

つじ 議員 神戸空港の国際化について

決算総括質疑 つじやすひろ議員



大阪・関西万博では、日本のみならず海外からも多くのインバウンド観光客が見込まれ、国際港湾都市神戸をアピールできるチャンスである。2025年の国際チャーター便の受入れを追い風とし、周辺都市に遅れをとらないように、兵庫県や民間事業者とも連携しながら、スピード感を持って検討を進めるべきと考えるが、現在の検討状況について伺う。

久元 市長 2025年頃を見据え、須磨海浜公園の再整備、神戸ポートタワーのリニューアル、新港第2突堤基部など、ウオーターフロントエリアの再開発、六甲山の賑わいづくり等に取り組んでいる。同時に、公共交通のキャッシュレス化、フェリーや空飛ぶ車等の活用検討、エリアの個性に合った宿泊施設の立地等、受入れ環境の整備も進めている。これらの取組を進めていく上で、兵庫県との連携は大変大事であり、周辺圏域経済の活性化に繋がるよう取り組んで参りたい。

